

'14. 10. 26

都サ連通信

発行 東京都手話サークル連絡協議会

代表 高田 直樹

<http://tosaren.web.fc2.com/index.html>

tosaren@syuwa.tv

FAX03-3961-2445

自立支援センター運営委員会報告

- 9月13日(土) 10月11日(土) 運営委員会
- 手話啓発事業
 - ・特別講演会
 - 11月23日(日・祝) 黄田規子氏「戦前・戦中・戦後に生きて」リフレッシュ氷川集会室
 - 参加費 1,000円
 - ・「素晴らしい手話の世界」10月からの後期が始まりました。
- センター啓発事業
 - ・12月ふれあいサロン「クリスマス会」
 - 12月13日(土) 18時から
 - 自立支援センター2階多目的室
 - ・耳の日記念大会 拡大実行委員選出
 - 11月17日(月)・1月26日(月) 19時から
 - 自立支援センター
- 会計
 - ・8/7 手話で語る戦時体験2014
 - 253,998円 たましろの郷後援会と折半
 - ・8/18 センターまつり収益 257,806円
 - ・センターまつり寄附 147,000円
- 自立支援事業
 - ・スクールソーシャルワーク制度化について東京都教育長に要望
 - ・職業委託訓練 第2期8月から4名
- 自立支援センターのシンボルマークの一般公募中です。
- *次回運営委員会11月8日(土) 10時から

(文責 高田・杉石)

福祉対策会議報告**(8月21日 『聴覚障害者施策推進地域担当者会議』)**

- ・参加者は約90名で会場いっぱい、関心の高さがうかがえた。
- ・「手話言語法東京推進行動月間」の結果、意見書の採択や請願・陳情の提出(予定を含む)の勢いづく状況が報告された。未提出の地域も若干あるが、全地域からの提出を目指すことを確認。また、各区市からは、具体的な交渉手腕や経過の報告が続々となされた。

(9月1日)

- ・「手話言語法」意見書採択がさらに進展中。陳述の機会を得ることは、議員の理解につながり、大変有効だと実感したとの報告があった。
- ・8/2~3「第26回ろう教育を考える全国討論集会 in 東京」は約560名の参加者。実行委員会より、協力に対する感謝の意。
- ・9/6「東通研集会」は、東聴連と東通研の合同開催。午前藤井克徳氏の記念講演、午後の分科会「手話サークル」では、都サ連高田代表が、東聴連の加藤規子氏と共に座長を務めた。
- ・11/16「東京都聴覚障害者大会」(於:八王子)開催予定。
- ・10/25~27「全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 三重」開催。全難聴は体験談集『冬芽を想う』を発行。
- ・11/30「東京都中途失聴・難聴者の集い」(於:板橋区高島平区民館ホール)開催予定。
- ・東京オリンピック・パラリンピックに向け「手話のできる都民養成事業」について、東京都から東聴連に協力依頼があった。
- ・11/1~2「全国防災会議」(於:郡山市)は、災害対策委員会から参加を募る。

(10月6日)

- ・東聴連は11/29課題対策会議を開催予定。
- ・都サ連は、10/19一日研修会(講演:山本英由美氏・小嶋勇氏)の予定をお知らせした。
- ・参政権委員会は、テキスト『手にことばを』の参政権に関わる記述内容を改訂作業中。
- ・手話通訳等派遣センターは、創立40周年行事に向け準備中。シンポジウムを予定している。
- ・手話言語法推進活動は、続々吉報が!年内に、協会のある地域すべてでの達成を目指そう。全国の状況は、全日ろう連の「手話言語法意見書マップ」「手話言語条例マップ」参照を。
- ・東京オリンピック・パラリンピックに向けた、東京都の啓発パンフレット&リーフレット案に、東聴連からの助言作業が進展中。
- ・手話・要約筆記通訳者の入札制度。東京地裁に対し、通訳者の専門性の重要さと、その派遣が可能である派遣センターが派遣元としてふさわしいことを訴える「申し入れ書」提出を準備中。

(文責:委員 林)

たましろの郷後援会役員会

事務局から 2014年度会員数/個人 978名(1038口) 団体 46(68口)、募金箱回収 38個 ¥1,538,397(9/27現在)

継続会員の方、今年度の会費のお支払いはお済ですか。会費未納の方はたましろの郷ニュースの宛名に赤字で記されています。お早目の入金をお願いいたします。

新規入会の方も大歓迎です!

字幕入り 16 ミリ映画を楽しむ会 10/13(月祝)台風接近が心配されましたが、無事開催できました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございます。往年の俳優、女優さんたちの若くて美しい姿、昭和の風景が広がる懐かしの感動映画2本立てを堪能しました。次回は11/30(日)午後2時~4時半、リフレッシュ氷川にて「ハチ公物語」を上映いたします。お楽しみに!

たましろカレンダー2015 お待たせしました!今年もなかまの絵が満載の卓上型カレンダーが出来上がりました。1部1000円。10部以上まとめてご注文の場合は送料無料です。申込み用紙は、たましろの郷後援会HPでもダウンロードできます。たくさんのお申込みお待ちしております。

たましろの郷出前講座 後援会役員があなたの地域に伺います!たましろの郷のことがよくわからない...そんなサークルの皆さんのための出前講座です。お気軽に後援会までお問い合わせください。

(文責 天野)

参政権保障委員会報告(2014/10/20)

参政権保障委員会では、毎月第3月曜日に定期会議を開催しています。

(9月の参政権保障委員会はお休みでした)

●手に言葉を!「東京のろう運動と福祉」の執筆について12月頃までに原稿をまとめてレイアウトし、完成させる予定になりました。内容は、参政権運動の歴史や課題、今後の展望などについてまとめる予定です。

●コミュニケーションボードについて

東京以外のいろいろな地域でコミュニケーションボードを活用したいという依頼が来ています。今後は、コミュニケーションボードのイラストなどのデータを、自由な改変を認めるようなライセンスをつけて、一般公開する予定です。イラストを描いてくださった方や東京都などの各方面と意見を調整している最中です。

次回は、11月17日の予定。

(事務局 三村)

広報班の活動報告

サークル訪問記

~西東京市手話サークル「山茶花の会」~

7月15日(火)夜七時過ぎ、西武池袋線保谷駅からバスで20分の保谷障害者福祉センターに白川代表を訪ねました。コの字型に難聴の方お人を含む6名の会員が温かく迎えてくれました。都サ連の宣伝をさせて頂き、都内の手話サークルの様子などをお知らせしました。普段は会員の健康相談や地域の情報交換などを行っているそうです。以前都サ連に加盟していたとのことで詳しい経緯を話して下さいました。保谷市と田無市が合併して西東京市になりましたが、その際地域のろう協からは昼と夜で手話サークルは一つずつに統合しろとの指示があったそうです。5から6つあったサークルの中で最も古い歴史を持ち手話講習会も手伝っていた山茶花の会は、異議を唱えました。広い地域で開催場所や日時も全くバラバラなのだから一つにと言われても難しい。各サークルの代表者の連絡網を作りろう協から情報を回せば良いのではないかと。しかし受け入れられずに、ろう協との関係は終わってしまったそうです。それでも山茶花の会はへこたれませんでした。保谷地域の中で出来ることをしようと今も小学校の総合教育の時間に手話の指導や、聴覚障害者の不便さや差別について啓蒙活動を続けています。更に普通の市民コーラスの発表会の最後に必ず手話をつけて歌うように働きかけて続けているのです。これだけ強い意識でろう運動に取り組んでいるのに、地域である意味ろう者達から孤立してしまうのです。私は何かやり切れない寂しさのようなものを感じていました。都サ連は手話サークルに関する過去2回の全日ろう連指針の中で、ろう協と疎遠になるかも知れないサークルの横の連絡網として設立された側面があったはずですが。当時なぜ私たち都サ連は手を差し伸べられなかったのか、地域の問題ではあっても何か出来ることがあったのではないかと私は皆さんの顔がまともに見れなくなっていました。西東京市で今現在ろう協と活動しているサークルも当然あるはずですが、今後団結して地域の行事などを担うことは無理なのでしょうか。「東京都内の手話サークルは全て仲間」と謳う都サ連にとって、決して対岸の火事とはならないはずですが。保谷駅まで車で送って下さった石田さんの、また一日研修に参加したいと言う笑顔に救われて帰って来ました。

(文責 広報班 山崎)